

## 造形Ⅱ（過去の出題例その1）

### 問題

与えられた2色のケント紙を用いて、台紙上の空間に三角すいの組合せによって「浮揚」をテーマとする美しい造形物を創作しなさい。但し、造形物には白色の三角すい、灰色の三角すいをそれぞれ一つ以上使用すること。台紙上の空間とは、与えられた3枚のボード（幅300mm×奥行300mm）を図1のように貼りあわせてできる、おおよそ「幅300mm×奥行300mm×高さ300mmの立方体の空間」を指すものとし、構成の際にはこのボードの存在にも十分に配慮するものとする。創作した「造形物」は、正面を手前に向けて置くこと。

### （注意事項）

- ・指定された材料および道具のみ用いること。
- ・3枚のボードのいずれか1面は台紙として机の上に水平に置くものとする。
- ・「造形物」は、試験終了後もその形が継続的に維持できるように創作すること。
- ・黄テープは接着時の仮止め用としてのみ使用することができる。
- ・ボードや材料に描画、着色してはならない。
- ・ボードは穴を開けたり、切欠きしてはならない。
- ・別紙に受験番号、創作主旨を記載し、作品の横に置くこと。
- ・道具の使用においては、身体や肌を損傷しないように十分に注意すること。

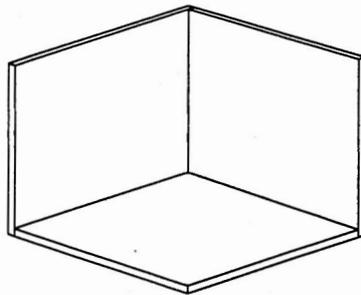


図1 台紙上の空間（正面から見た図）

## 造形Ⅱ（過去の出題例その２）

### 問題

与えられた厚紙を使って、台紙上の空間に「多中心※がつくる新しい調和」を表現する、秩序のある美しい造形物を創作しなさい。

※多中心とは、分散して存在する複数の自立した中心のこと。

解答用紙には、作品タイトルおよび創作主旨を 100-200 字程度で簡潔に述べなさい。

造形物は、以下の条件で創作すること。

### ◎条件

1. 「多中心がつくる新しい調和」を表現する造形物は、複数の立体物によって構成されるものとする。
2. 「立体物」は、立方体・直方体・三角すい・円柱・八面体などの抽象的な幾何学的立体物とする。
3. 「立体物」は、与えられた白色の厚紙を用いて製作すること。
4. 「台紙上の空間」とは、与えられた 3 枚の白色のボードを（300mm×300mm）を図のように貼り合わせてできる、おおよそ「幅 300mm×奥行 300mm×高さ 300mm の立方体」を指す。造形物はその空間内に配置することとする。

### ◎注意事項

- ・ 指定された材料および道具のみを用いること。
- ・ ボードや厚紙に描画や着色をしてはならない。
- ・ ボードに穴を開けたり、切り欠きしてはならない。
- ・ 作品は試験終了後もその形を維持するように創作すること。
- ・ 道具の使用においては、怪我をしないように十分に注意すること。
- ・ 解答用紙に受験番号、氏名、作品タイトルおよび創作主旨を記載し、作品の横に置くこと。

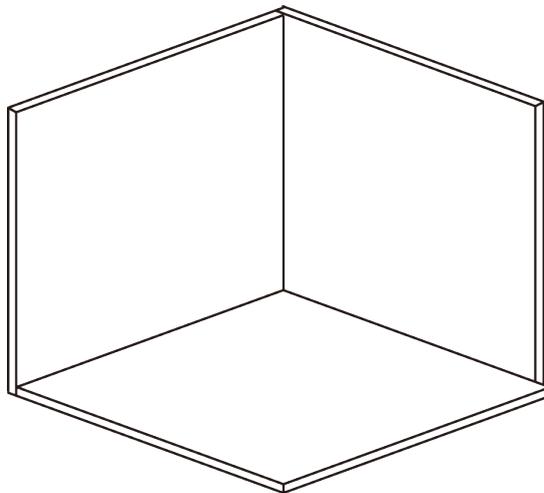


図 台紙上の空間（正面から見た図）

## 造形Ⅱ（過去の出題例その3）

与えられた二枚のボードと幅約3cmのケント紙を用いて、「緊張感のある空間」を表現した造形物を創作しなさい。

ただし、創作にあたり与えられたボードのうち一方を台紙として机の上に置き、幅約3cmのケント紙を組み合わせた造形物によって他方のボードを約30cmの平行間隔（下図参照）を保って支え、二枚のボード間に「緊張感のある空間」を表現すること。また、ボードは切り欠いたり穴を開けたりして原形を大きく損ねないこと。

なお、与えられた用紙に、創作主旨を記入（スケッチ併用も可）してから創作にとりかかること。

### 注意事項

造形物は、試験終了後もその形態を維持できるように創作すること。

道具の使用においては、身体を傷つけないよう十分注意すること。

